

Tableau Data Server で ガバナンスの行き届いたデータアクセスを実現



質問...

- ユーザーのデータアクセスを一元管理するとともに、アドホックの探索を可能にしたいですか？
- 増加するデータソースの複製への対処に苦労していますか？
- 抽出を一度更新すると、接続されたワークブックのすべてが自動的に更新されるようにしたいですか？
- フィールドの標準定義を策定するための計算作成機能のあるメタデータの一元管理を提供したいですか？
- 各ユーザーのローカルマシンにデータベースドライバーを導入するのは面倒だと思っていますか？
- データベースに格納されたデータに対するユーザーのアクセスをシンプルにしたいですか？

これらの質問のうちのいずれかに「はい」と答えた場合は、Data Server が解決します。

目次

| | |
|------------------------|---------|
| メリット | 4 |
| Data Server の場所 | 5 |
| Data Server によるインパクト | 6 |
| パブリッシュされたデータソース | 7 |
| メタデータモデル | 8 |
| データ標準チェックリスト | 9 |
| 認証済みデータソース | 10 |
| Tableau Server パーミッション | 11 |
| サイトロールと責任 | 12 |
| ワークフローのパブリッシュと認証 | 13 ~ 14 |
| ステータスと使用状況の監視 | 15 |
| まずはトライアルから | 16 |

メリット

Tableau Server には、セキュリティ、ガバナンス、データ探索、コラボレーションを促進する多数の機能が組み込まれています。Tableau Server に含まれているそのようなツールの中で最も強力なのは、まず間違いなく Data Server です。

Data Server は IT にとって、データアーキテクチャの複雑さをビジネスユーザーに感じさせることなく、セキュリティ、ガバナンス、要件の監視を満たしてくれるものとなります。ライブ接続または抽出されたデータセット、およびデータベースドライバーの一元管理が可能です。

また、ビジネスユーザーは Data Server によって正しいデータを使用していることが確信できるので、思い通りに Data Server を探索してビジネス価値を促進する新たなインサイトを発見できます。

企業は Tableau の使用に関する緩やかなガイドラインから厳格な境界線まで、自社のガバナンスプロセスを策定し、誰もが理解できる役割と責任を定義しておく必要があります。

IT がビジネスイネーブラーになれば、情報が十分に提供されているユーザーはデータを信頼し、ガバナンスで管理されたデータアクセスからメリットを得られます。

- **セキュリティで保護およびガバナンスで管理されたアクセス** – セキュリティ保護とガバナンス管理された運用モデルで、正しいデータを適切な対象者に提供できます。
- **データの品質と信頼性** – 健全なデータで事実ベースの意思決定が行えます。
- **信頼と自信の構築** – 信頼されたデータを自信を持って使用することができ、ビジネス価値を促進できます。
- **一貫したユーザーエクスペリエンス** – 簡単に参照でき、透明性を備えた誰でも理解できるフォーマットでプロセスを文書化できます。
- **パフォーマンスとスケーラビリティ** – ガバナンスプロセスでデータとコンテンツの増加を抑制します。

Data Server の場所

Tableau Server をインストールするとすぐに、標準の計算など、用意されているメタデータモデルを Data Server で共有できます。

適切なパーミッションのあるユーザーは、Tableau Desktop で次のことを実行できます。

- 他のデータベースに接続するのと同様に、Data Server に接続する:
 1. 接続リストから Tableau Server を選択する。
 2. 認証する。
 3. データソースを選択する。
- Tableau Server でデータソースにアクセスすることで、パーミッションの管理、手動での更新、パブリッシュされたデータソースの削除を管理する。



Connect

To a File

Microsoft Excel

Text file

JSON file

PDF file

Spatial file

Statistical file

More...

To a Server

Tableau Server

Microsoft SQL Server

MySQL

Oracle

Amazon Redshift

More...

Saved Data Sources

Sample - Superstore

World Indicators

Tableau Server から



+ a b | e a u

Default

Content

Users

Groups

Sch

Projects 18

Workbooks 21

Views 39

Data Sources 16

▼ 0 items selected

| | Name | Views: All | Workbook |
|--------------------------|--------------------------------------|------------|----------|
| <input type="checkbox"/> | Orders + Returns | 2 | 1 |
| <input type="checkbox"/> | Orders (Sample - Superstore) Extract | 5 | 1 |

Tableau Desktop から

Connected to Tableau Server as Michael Hetrick

Search

| | Data Source | Live/Las |
|--------------------------|--------------------------------------|----------|
| <input type="checkbox"/> | Orders + Returns | Live |
| <input type="checkbox"/> | Orders (Sample - Superstore) Extract | 2016 S |
| <input type="checkbox"/> | Marketing Data | Live |
| <input type="checkbox"/> | Loan (TestV1) | Wednes |

Data Server によるインパクト

データソースのパブリッシュ

メタデータモデルの整備と共有

データ標準の確立

認証済みデータソースの指定

データアクセスのパーミッション管理

パブリッシュと認証のプロセス確立

使用状況とステータスの監視

パブリッシュされたデータソース

Data Server は、パブリッシュされたデータソースを使用して、メタデータモデルおよびデータの一元管理を組織に提供します。適切なパーミッションを持つユーザーは、Tableau Server でデータソースのパブリッシュを行うことで定義したライブ接続または抽出済みデータセットを共有できます。データソースがパブリッシュされると、他のタイプのデータと同様、その他のユーザーが自身のワークブックから接続することができます。パブリッシュされたデータソースのデータが更新されると、それに接続されているすべてのワークブックにその変更が反映されます。

Data Server の使用によって、データの一貫性と信頼性がユーザーにもたらされるだけでなく、管理者にも利点があります。複数のワークブックを1つのデータソースに接続できることで、データソースの埋め込み数を最小化し、ストレージスペースと処理時間を節約できるからです。ユーザーが、パブリッシュされたデータソースに接続されたワークブックをダウンロードし、その後、抽出すると、抽出はサーバーに保持されるためネットワークトラフィックを抑えることができます。

また、接続にデータベースドライバーが必要な場合、ドライバーのインストールと維持はサーバー上でのみ実行され、各ユーザーのコンピューターでは必要ありません。Tableau Online を使用すれば、サイトにパブリッシュされているデータソースに、サポートされているすべてのドライバーを利用できます。

メタデータモデルは簡単にパブリッシュできます。接続しているデータソースのコンテキストメニューで [サーバーにパブリッシュ...] を選択し、認証資格情報を入力してデータソースパーミッションを指定するだけです。

The screenshot shows the Tableau Desktop interface. A context menu is open over a data source, with the 'Publish to Server...' option highlighted in orange. The background shows a bar chart titled 'Sheet 1' with 'Sales' on the y-axis and 'Furniture' on the x-axis. The chart displays several bars representing sales data for different furniture categories.

| Category | Sales |
|-----------|-----------|
| Furniture | \$300,000 |
| Category | \$200,000 |
| Category | \$100,000 |
| Category | \$50,000 |
| Category | \$200,000 |
| Category | \$100,000 |
| Category | \$50,000 |

メタデータ モデル

Tableau は、シンプルでエレガント、かつ強力なメタデータシステムを作成しました。これにより、ユーザーは柔軟性を得るとともに、エンタープライズのメタデータ管理が可能になります。メタデータモデルは、ワークブックに埋め込むか、またはパブリッシュされたデータソースとして Data Server で一元管理できます。

データソース — データソースは 1 つまたは複数のライブおよび/または抽出接続がなされ、その属性は、使用するデータベース、表、ビュー、列および結合、またはデータへのアクセスに使用するカスタム SQL です。

データモデル — 接続すると、Tableau は自動的にフィールドをディメンションまたはメジャーとして認識します。さらに、データモデルは計算やエイリアス、書式設定を格納します。

VizQL モデル — VizQL モデルにより、ユーザーは実行時にフィールドの役割と集計を調整することができます。これによってユーザー個人が、他のユーザーによってデータソースで実行される分析のすべてのバリエーションを把握および計画する必要なく、またはそれらについての責任を負うことなく、データソースおよびデータモデルをフィールドの集まりとして定義できます。



フィルター
集計
役割
表計算



計算
エイリアス
既定の形式
コメント



接続
接続属性
表
結合
ライブ/抽出



データベース



ビッグデータ



クラウド

データのソース



アプリケーション



ファイル

データ 標準

データソースに接続するたびに、ユーザーは CustId や BusUnitNum などの名前のフィールドについて考えたり、数字を通貨に再フォーマットしなければならないでしょうか。または、独自の計算を作成したり、どのバージョンの計算フィールドを使用するか判断する必要がありますか。組織または製品の階層にドリルダウンパスがありますか。

Data Server は、どのようなデータソースのどのようなフィールドのセマンティックに関する問題も解決します。ユーザーがデータに接続し、データモデルを作成した後、そのパブリッシュされたデータソースがきれいに書式設定されていて、ビジネスに関する質問に合わせてフィルターやサイジングがされていれば、どれほど簡単に分析できるでしょうか。

右記のチェックリストを使用してデータ標準を策定していれば、セルフサービスでのデータアクセスにガバナンスがもたらされます。

パブリッシュされたデータソースのチェックリスト

- ✓ 分析用にフィルターおよびサイジング済み
- ✓ ビジネスで扱いやすい命名規則を使用
- ✓ データ型を設定
- ✓ 階層を作成
- ✓ 書式設定の適用（日付、番号など）
- ✓ 会計年度の開始日を設定（該当する場合）
- ✓ 新しい計算を追加
- ✓ 重複/テスト計算を削除
- ✓ コメントを入力
- ✓ 最上位レベルに集計
- ✓ 未使用のフィールドを非表示
- ✓ Tableau Server にパブリッシュ

認証済み データソース

Tableau Server 10.4 以降では、認証と推奨を確認してデータソースを見つけることができ、Tableau を使用したエンタープライズ分析の効果的な管理能力を向上させることができます。この両方の機能によって、冗長なデータモデルの増加を抑え、より速く信頼できる良好なデータを見つけることができます。Tableau Server にデータソースをパブリッシュした後、認証プロセスを定義すれば、ユーザーはそのデータが信頼できることが分かります。

認証済みのデータソースは、Tableau Server の検索結果およびデータソースのスマート推奨アルゴリズムで優先的に扱われるため、見つけやすく、また再利用もしやすくなります。

特定のデータソースが信頼できる理由は、認証メモに入力することができます。これらのメモは Tableau のどこからでも、そのデータソースを表示する際にアクセスできます。

認証バッジ

TFS-CurrentWorkItemWithParents
DATA SOURCE • By Oliver Jen • 30,147 views • ☆ 0 • Extract: Jul 25, 2017, 1:37 PM • **Certified by Graeme Britz**

Connections 1 Refresh Schedules 1 Connected Workbooks 33 Permissions **Details**

About Specialized datasource used for tracing parent-child lineage of work items down the TFSPortfolio Hierarchy (e.g. Epic>Feature...), regardless of the descendant level. The parent Epic, Feature, Feature Requirement, and Story attributes for each work item are included if present, as well as the backlog priority for parent. Cannot be used on nested epics or other similar structures.

Project Internal System and Data Resources

Owner Oliver Jen

Tags curated, CurrentWorkItemWithParents, official, tfs, TFS, TFS-CurrentWorkItemWithParents

Modified Jun 1, 2017, 9:46 AM

认证メモ

Certification Certified by Graeme Britz

Specialized data source for tracing the lineage of work items down the TFSPortfolio Hierarchy. This cannot be used with nested epics or similar structures (feature under a feature). Data was prepared by Oliver Jen and is refreshed hourly.

Edit Description

Move...

Change Owner...

Edit Tags

View Revision History...

Edit Certification Status

Delete Data Source...

認証バッジと認証メモは認証済みデータソースであることを示します。これらによってユーザーは、そのデータが信頼できるものであることを認識できます。

Tableau Server パーミッション

右に示したデータソースに関する Tableau Server パーミッションにより、グループまたはユーザーに許可する機能を詳細に制御できます。

この例では、「Finance - Data Source Publishers」グループがデータソースの表示、接続、保存、ダウンロード、削除、パーミッション設定を実行することができます。このグループは、プロジェクトのパブリッシャーパーミッションルールが定義され、プロジェクトにパブリッシュまたは保存することができます。このグループのメンバーには、DBA やデータスチュワードが含まれます。

「Finance - Workbook Publishers」グループおよび「Finance - Workbook Users + Web Edit」グループは、データソースの表示と接続ができます。これらのグループのメンバーには、作成者および使用者が含まれており、プロジェクトのビューアーパーミッションルールが定義され、コンテンツの表示が可能です。

パーミッションはプロジェクトにロックされているため、パーミッションのないユーザーがそのワークブックおよびデータソースを修正することはできません。

データソースパーミッション

Edit permissions for the project "Finance - Data Sources".

| User / Group | Project | Data Sources | Use | Edit |
|---|-----------|-----------------------|-----|---------|
| All Users (2) | None | None | | |
| All-Site - Data Source Publishers (0) | Publisher | Locked to the project | ✓ ✓ | ✓ ✓ ✓ ✓ |
| Finance - Data Source Publishers (0) | Publisher | | ✓ ✓ | ✓ ✓ ✓ ✓ |
| Finance - Workbook Publishers (0) | Viewer | | ✓ ✓ | |
| Finance - Workbook Users + Web Edit (0) | Viewer | | ✓ ✓ | |

使用

表示 - データソースをオープン

接続 - データソースに接続

編集

保存 - Tableau Server でデータソースを保存および上書き

ダウンロード - データソースをダウンロード

削除 - データソースを削除

パーミッションの設定 - データソースのパーミッションを指定

パーミッションルール

エディター - ユーザーまたはグループにサーバーのデータソースの接続、編集、ダウンロード、削除、パーミッション設定を許可します。データソースのパブリッシュも可能で、パブリッシュされたデータソースの所有者である場合、接続情報と抽出の更新スケジュールを変更することもできます。(管理者またはプロジェクトリーダーがデータソースの所有者を変更した場合、最後の 2 つの機能は利用できなくなります。)

コネクター - ユーザーまたはグループにサーバーのデータソースへの接続を許可します。

サイトロールと責任

Tableau Server でサイトにユーザーを追加する際には、それらのユーザーにサイトロールを適用する必要があります。

サイトロールはコンテンツではなくユーザーレベルで設定され、コンテンツサイト全体でユーザーに制限を適用します。

どのユーザーまたはグループがパブリッシュや操作ができるか、またはパブリッシュされたコンテンツの表示のみが可能か、またはサイトのユーザー管理やサイト自体の管理が可能かは、サイトロールによって決まります。

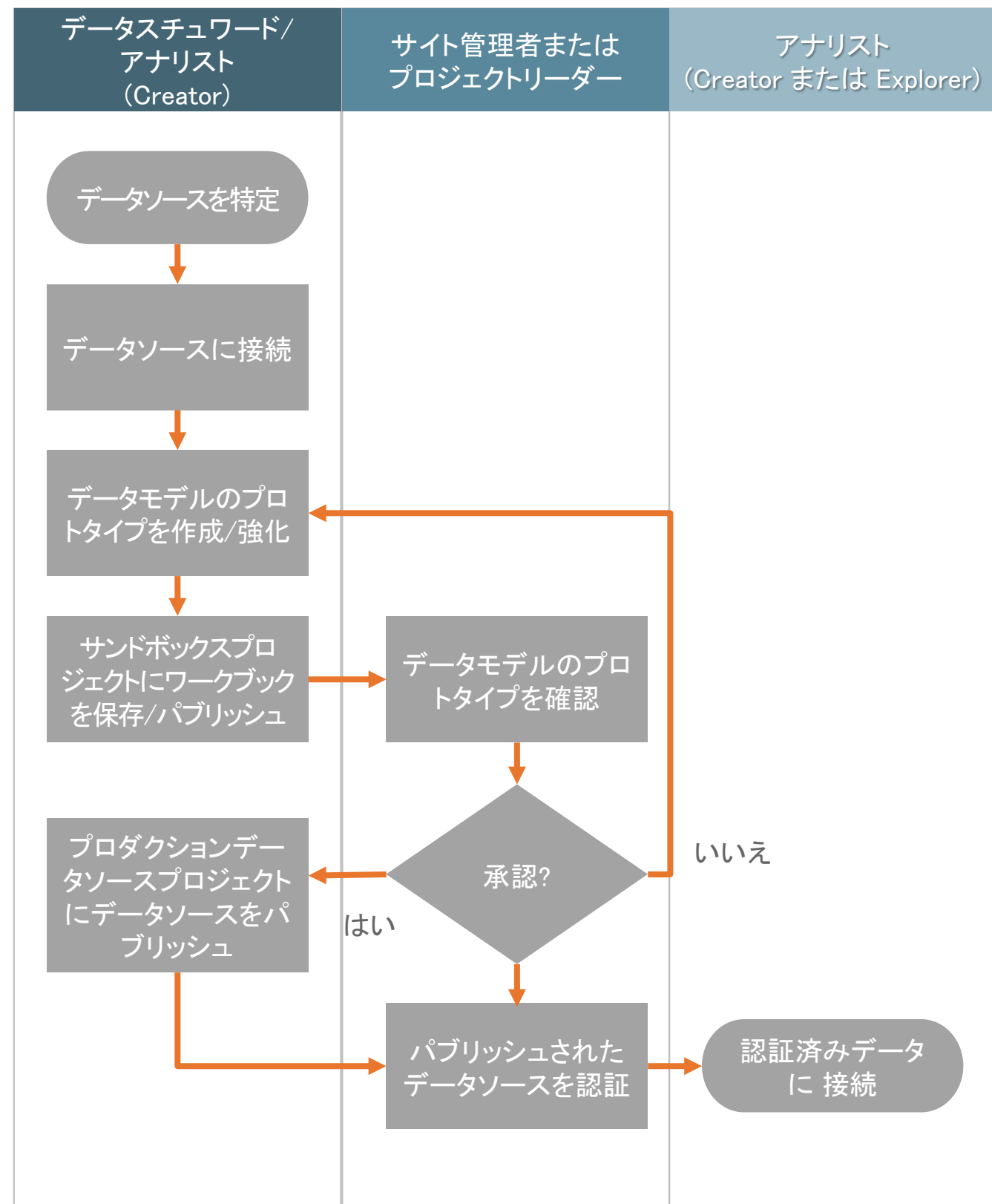
- **サーバー管理者** – サーバー管理者は、組織のガバナンスポリシーおよびプロセスに従い、ソフトウェアとデータベースドライバーのインストールや、構成、アップグレード、監視、保守、およびセキュリティの監視を行います。
- **サイト管理者/プロジェクトリーダー** – サイト管理者およびプロジェクトリーダーの責任は、それぞれ Tableau Server サイトまたはプロジェクトを管理することです。これにはユーザー、パーミッション、データソース認証が含まれます。これらの担当者の管理機能を代表するのが、サーバー管理者です。
- **Creator (データスチュワード/アナリスト)** – Creator は Tableau Desktop または Tableau Server Web 作成 を使用してデータに接続し、新しいデータソースやダッシュボードを作成します。これらのデータソースとダッシュボードは Tableau Server でパブリッシュおよび共有されます。データスチュワード (DBA またはデータアナリストなど) はデータソースをパブリッシュします。

また、組織の義務および/または規制義務に準拠しながら、プロセスの定義、ポリシー、ガイドラインや、エンタープライズのメタデータ管理に関するビジネス知識を組み込みます。
- **Explorer (アナリスト)** – Explorer は Tableau Server Web 作成 を使用して既存のデータソースに接続し、新しいダッシュボードを作成します。これらのダッシュボードは Tableau Server で保存および共有されます。
- **Viewer (ビジネスユーザー)** – Viewer はコンテンツを表示したり操作したりすることができます。

ダイレクトアクセス ワークフロー

前提: データスチュワード/アナリストはデータソースに直接アクセスが可能。

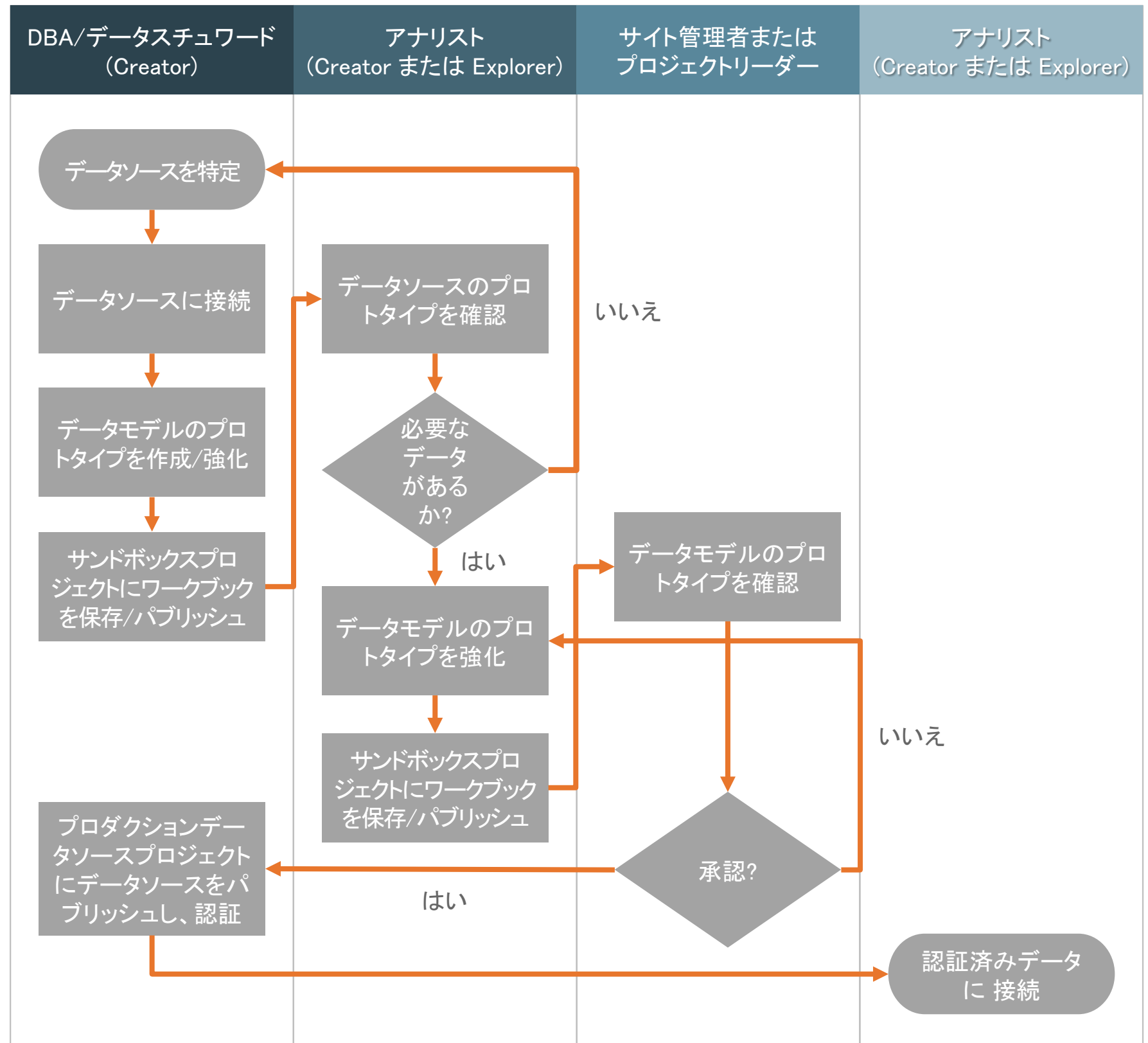
1. ビジネスに関する質問への回答が得られる適切なデータソースを特定。
2. データスチュワード/アナリスト:
 - a. データソースに接続。
 - b. データモデルのプロトタイプを作成。
 - c. Tableau Server にワークブックを保存またはパブリッシュ。
3. サイト管理者またはプロジェクトリーダーは、データモデルがデータ標準に準拠していることを確認し、承認。
4. データスチュワード/アナリストが、プロダクションデータソースプロジェクトにデータソースをパブリッシュ。
5. サイト管理者またはプロジェクトリーダーがデータソースを認証。
6. アナリストが認証済みデータソースに接続し、信頼されるデータに基づいた新しいコンテンツを作成。



制限アクセス ワークフロー

前提: アナリストはデータソースに直接アクセスできず、データソースへの接続について DBA またはデータスチュワードに依存している。DBA またはデータスチュワードは、データソース ([部署] プロジェクト) のプロジェクトリーダー。

1. ビジネスに関する質問への回答が得られる適切なデータソースを特定。
2. DBA/データスチュワード:
 - a. データソースに接続。
 - b. データモデルのプロトタイプを作成。
 - c. Tableau Server にワークブックを保存またはパブリッシュ。
3. アナリストがデータソースのプロトタイプを確認し、新しい計算によってデータモデルのプロトタイプを強化 (必要な場合)。
4. サイト管理者またはプロジェクトリーダーは、データモデルがデータ標準に準拠していることを確認し、承認。
5. データスチュワード/アナリストが、プロダクションデータソースプロジェクトにデータソースをパブリッシュし、認証。
6. アナリストが認証済みデータソースに接続し、信頼されるデータに基づいた新しいコンテンツを作成。

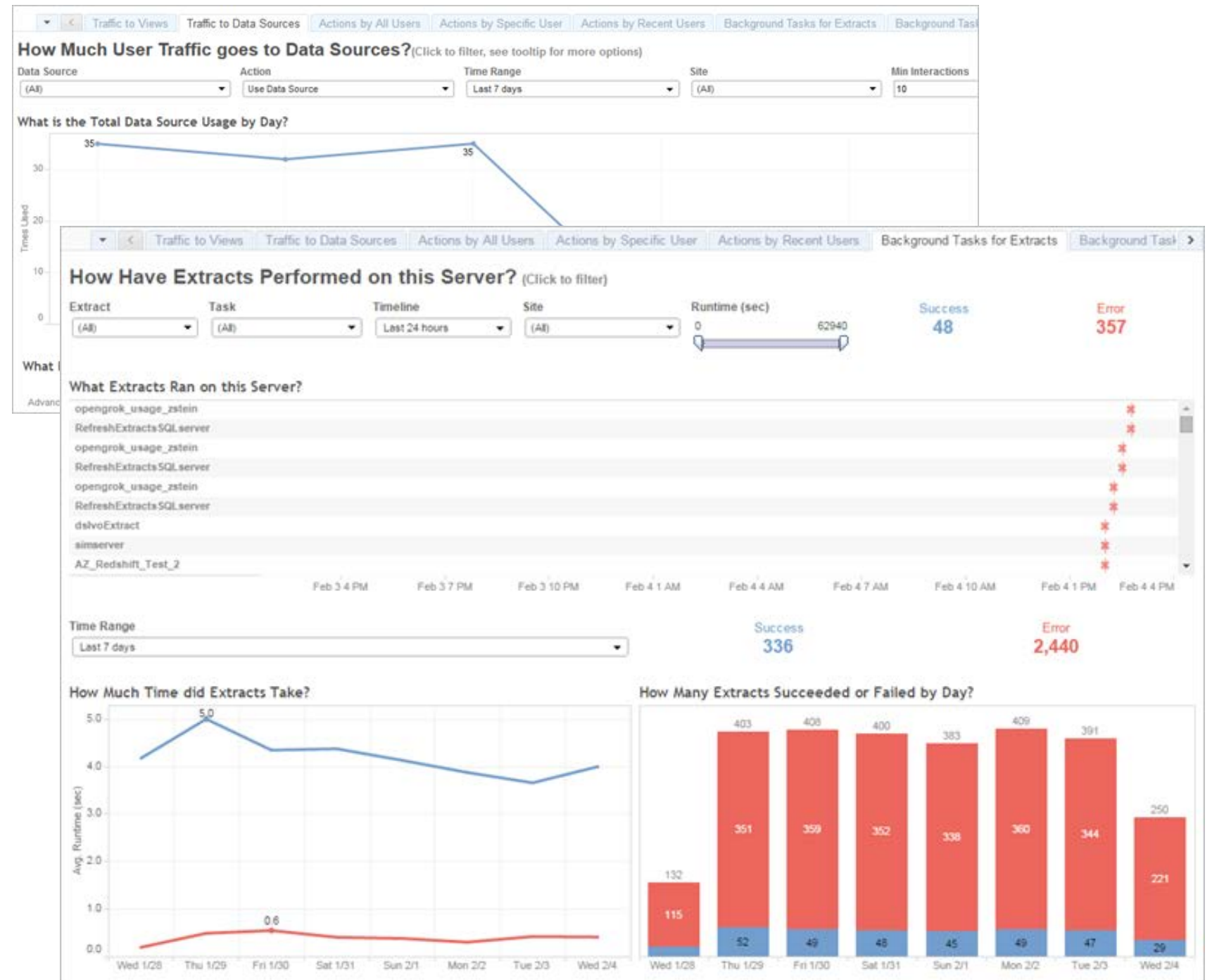


使用状況とステータスの監視

Tableau Server の管理ビューで、パブリッシュされたデータソースの使用状況とステータスを監視できます。

[データソースへのアクセス量] ビューで、Tableau Server 環境でのデータソースの使用状況を確認することができます。これにより、どのデータソースが頻繁に使用されているか、またはあまり使用されていないかが判断できます。サーバー管理者はサイトを指定でき、サイト管理者は自身のサイトの使用状況のデータのみ、表示することができます。

また、管理ビューで抽出とその成功または失敗を監視できます。[抽出でのバックグラウンドタスク] 管理ビューでは、タイムラインで指定された期間に実行された抽出が一覧表示されます。成功またはエラーのステータスを確認し、さらに調査することができます。



無料トライアルの開始

Data Server およびパブリッシュされたデータソースにより、データのサイロ状態や信頼されないデータの増加を防止することができます。抽出の更新をスケジュールすることができ、組織の全ユーザーが同じ共有データとフィールド定義で常に最新の状態を維持できます。

今すぐ Tableau Prep および Tableau Desktop とともに Tableau Server または Tableau Online を使用し、Data Server とパブリッシュされたデータソースを使用してガバナンス管理されたデータアクセスを実際に体験してください。

<https://www.tableau.com/ja-jp/products/trial>



Tableau Server



Tableau Online



Tableau Prep



Tableau Desktop

+ a b | e a u[®]